

DNホールディングス（HD）全額出資子会社の大日本コンサルタントとダイヤコンサルタントが合併し、1日に「大日本ダイヤコンサルタント」として新たなスタートを切った。両社の強みを融合してシナジー（相乗効果）をさらに発揮。人的資本の効果的な活用で社員エンゲージメントを高めていく。

——就任の抱負を。

「大日本コンサルタントとダイヤコンサルタントは2021年7月にシナジー創出を目的に経営統合した。両社の共同受注によって受注高は億円単位で増加しているが、1足す1を2以上にすることをシナジーだと考えると、現状にまだまだ満足していない。イノベーションによって新たなものを作り出すというのは簡単ではないが、今ある両社の技術やノウハウを組み合わせ、新しい仕事の受注につなげていく」

——足元の経営環境は。

# さらなるシナジー創出へ

## 大日本ダイヤ コンサルタント 原田 政彦氏

はらだ まさひこ

「公共は国土交通省発注業務の減少分を、高速道路会社や地方自治体などでカバーしている状況だ。防衛省では自衛隊施設の更新予算を計上しており、こちらも視野に入れて対応していく。民間ではウクライナ情勢による燃料価格

高騰の影響で、大手電力会社の発注が減っている。電力会社はダイヤコンサルタントの主要顧客のため、当社にも影響が出ている。価格高騰が落ち着けば発注も戻るのではないかと期待している」

——注力する取り組みは。  
「テレワークの定着と人的資本の活用に取り組み。コロナ禍で各社員がテレワークできる環境が整ったが、コロナの収束に伴い対面に戻りつつある。一方、社内の支社（地域）ごとに受注環境に差が出るようになってきている。そこで、支社管内で発注された案件を支社で消化するという体制から、全国で受注した仕事を全国で消化する体制に見直していく」

——国内ではインフラの新設技術を発揮する機会が減少している。  
「今後、維持・管理が業務の主体になってくると、これまで両社が培ってきた新設に関する技術の維持が困難になるのではと懸念している。大日本コンサルタントが強みとする構造物設計と、ダイヤコンサルタントが得意とする地質・地盤の調査・解析を、海外の橋梁事業などで生かしていきたい。保有する技術の海外輸出も狙っていく」。



## 新社長

1985年金沢大学卒、大日本コンサルタント入社。2016年執行役員、18年常務執行役員、21年取締役兼専務執行役員、DNHD執行役員経営企画本部長。富山県出身、61歳。座右の銘は「なせば成る」。自分の中で結果が出ない時は努力が足りないのではないかと反省し、モチベーションを高めている。

「具体的にはテレワークで地域の壁を越えてチームを組成し、チームごとに受注業務

（7月1日就任）

